

## 六甲山系グリーンベルト整備事業 渦が森かんきょうの森

迷惑にならないための返上・・・について

2024年2月9日

自然と環境科

## 六甲山系グリーンベルト整備事業の 取組の経緯

- 2009年10月14日から2022年6月10日まで整備活動を実施
- 29回の現地活動を実施しています。
  - 都市環境・緑化G 11回
  - 自然と環境科 18回
  - 森の世話人の参加 2回 樹木の伐採・仮払機の披露
- 2022年は知り合いの仮払機使用 2回

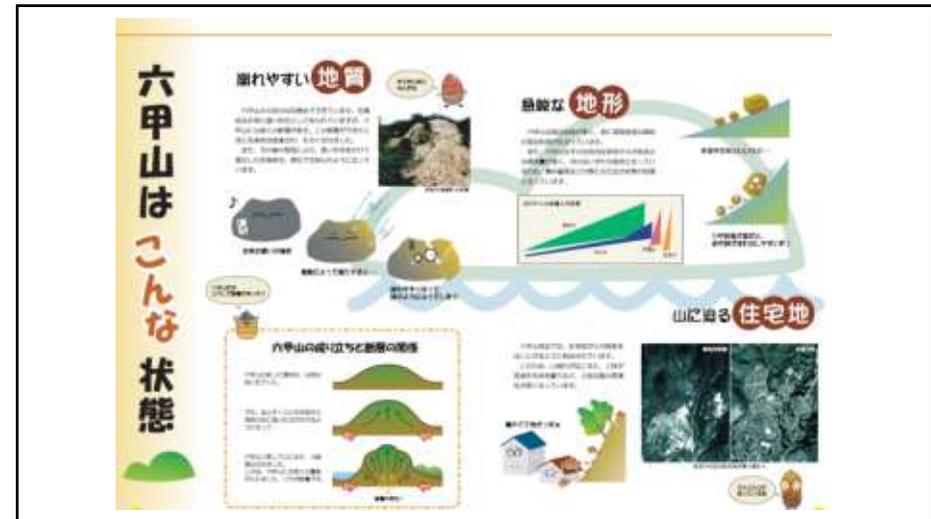


## 六甲山系グリーンベルト整備事業 取組に至った経緯

- 2008年当時の幹事が社会貢献事業を取り組みたいと考えていました。
- 当時の社会貢献としては
  - 1) 年2回の淀川河川敷の清掃(2007.11.16～)
  - 2) なにわエコ会議(大阪市の環境問題普及活動)(2004.6.19～)
  - 3) セミの抜け殻調査(大阪自然史博物館)(2004～2006)
- 自然と環境科はグループ研究活動に力を入れ全員が次の活動に入り、グループ内で研鑽を行っていました。
  - 1) 水・土壌G 2) エネルギーG 3) 地球温暖化G
  - 4) 都市環境・緑化G 5) エコリサーチG 6) サステナG
  - 7) 環境インプリG

## 自然と環境科が 六甲グリーンベルト整備事業への参画経緯 国土省 六甲砂防事務所見学

- 日時：2009. 6. 19 (金) 10:00~15:00 天気 晴
- 集合：JR 住吉駅 10:00
- 行先：神戸市東灘区 国土交通省近畿地方整備局 六甲砂防事務所  
北区 石楠花谷堰堤工事現場  
東灘区 グリーンベルト渦が森地区
- 案内：六甲砂防事務所 職員、現地へは中型バス利用
- 参加者：環境科 36名



## 六甲砂防事務所の取組

1. 六甲山と砂防事業について  
約100万年前の地殻変動（六甲変動）で隆起、風化の花崗岩、断層帯、急斜面、急流、山腹まで這い上がる住宅、降雨で山崩れ・土石流の危険をはらむ。  
六甲砂防事務所は全国唯一の単独事業所で土砂災害から住民の命と財産を守るため、次を基本方針としている。
  - (1) 土砂災害を防止するための砂防施設の整備
  - (2) 六甲山系グリーンベルト事業の推進
  - (3) 警戒避難体制の強化・土砂災害に関する普及・啓発活動
2. 六甲山系グリーンベルト事業について  
六甲山を一連の樹林帯（グリーンベルト）として保全・育成することにより、安全で自然豊かな都市空間を創出する。次のことを目標としている。
  - (1) 土砂災害の防止
  - (2) 都市のスプロール化（無秩序な市街化）防止
  - (3) 良好な都市環境、風致景観、生態系・種の多様性の保全育成
  - (4) 健全なレクリエーションの場の提供



# グリーンベルト整備事業

**六甲山の緑地**

整備・管理が完了した緑地  
維持管理が完了した緑地  
整備中・管理中の緑地  
整備予定・管理予定の緑地

**これからの緑地事業**

これまでの整備  
→  
見直しを行い山づくり  
自然豊かな山づくり

**グリーンベルト  
整備事業**

整備が完了した緑地  
整備中・管理中の緑地



**グリーンベルト整備事業  
対象区域**

六甲山地区において、山頂部から山麓にかけての山域を対象とする。

整備が完了した緑地  
整備中・管理中の緑地

# みんなの森づくり

**森づくり**

一帯のみなさんによる  
森づくり活動の様子です。

森づくり活動の様子です。

**とんくり育成プログラム**

とんくり育成プログラム

とんくり育成プログラム



## グリーンベルト整備の目標と考え方

**土砂災害の防止**

土砂災害の防止

土砂災害の防止

**緑地の回復**

緑地の回復

緑地の回復



土石流模型実験1 土石流模型実験2  
(砂防堰堤なし) (砂防堰堤あり)



堰堤モデルを使っでの説明

石楠花谷堰堤工事現場





六甲渦が森 環境の森整備 自然と環境科 取組趣旨

- この夏が代表するように、近年の天候不順は地球の気候温暖化と結び付けて話題になっている。事実は、今年の「環境白書」が記述しているように、世界の年平均地上気温はこの100年間で0.74℃の割合で上昇している事、さらに21世紀になってからの全ての年は最も気温の高かった10位までに入っていると報告している。同時に、森林が気候変動を緩和する役割を持つ事も明記している。
- 昨年の神戸市灘区の都賀川の鉄砲水による学童等の死亡事故は記憶に新しいが、ゲリラ豪雨による不幸な報道もこのところよく目にする。砂防工事は森の復元力を回復させ、水の保持能力も高める効果を持っている。趣旨に賛同し

当初は都市環境・緑化Gが検討し、国土交通省・近畿地方整備局が六甲山系で行っている地域整備及び地域住宅環境を守る防災工事：「六甲山系グリーンベルト整備事業」の市民参加型の「みんなの森づくり」に参画、渦が森地区の一角を担当することの、折衝を行いました。

## ◇活動の場：

交通のアクセスを考え、国交省・六甲砂防事務所が設定した「渦が森エリア」（神戸市東灘区）のNo.31地区とする  
 （交通：阪急岡本、阪神御影、JR住吉、JR摂津本山から神戸市営バス約20分渦森台（終点）下車歩5分で入口看板あり）

## ◇求められる効果：

- ・環境科としてのボランティア活動の場、実践の場、レクリエーションの場の提供
- ・良好な都市環境、風致環境、自然景観の保持に寄与
- ・活動により"六甲砂防"が目指す、季節感のある落葉広葉樹林へと林相転換に寄与

## ◇森の世話人として今後の予定及び手順：

- ・環境科の活動としては春・秋の2回実施
- ・緑化・都市環境Gとしては3カ月に1回程度の自主活動を行う
- ・活動は六甲砂防事務所、（株）総合環境計画の支援が受けられる

手順：この秋に植生調査の実施 ⇒ ロードマップの作成

当面はネザサに覆われた斜面の刈り払い。次いでニセアカシアやヒサカキ等の伐採、クズやフジのツタ類の除去 ⇒ 時間をかけ落葉広葉樹林へ転換

## 第1回目活動 都市環境緑化G & 有志 2009.10.14植生調査



## 渦が森 環境の森 第1回活動報告

・日時：2009. 10.14(水)

・活動：植生調査

・参加者：6名（都市環境・緑化G+有志）

### 活動内容

- ・本格的な森づくり活動の前に、森の植生を調査しておきます。森づくり活動をしながらかつ調査を続けていくと、森が育っていくようすを実感することができるからです。10m×10mの枠の中を注意深く観察し、そこに生えている植物の名前をすべて書き出し、写真を撮りました。木は名前だけでなく高さや幹の太さも記録しました。
- ・地面は一面、ササに覆われていましたが、24種もの植物を見つけることができ、森の多様さ、自然の奥深さに改めて驚きました。これからササを刈り取り、陽の当たる明るい森を育てていくと、もっとたくさんの植物に出会えるでしょう。今から花の咲く春が楽しみです。

## 第1回目の参加者



## 森の世話人活動団体登録ホームページ掲載



## 第2回 活動作業

上段 取り付け道路の整備 作業前

下段 担当エリア 作業中

作業後



## ◇◇◇活動記録(1)◇◇◇

年月日	活動内容	参加者	備考
12009.10.14	植生調査	6名(都市環境・緑化G+有志)	国交書HPで紹介
22009.12.08	作業道づくり	10名(同上)	
32010.04.16	ネザサの伐採、樹木測定	23名(環境科)	
42010.05.27	植生調査、ネザサ狩り、オブジェ制作	10名(都市環境・緑化G+有志)	
52010.11.19	ネザサの伐採、CO2測定	27名(環境科)	
62011.04.15	調査エリアの切り株処理とネザサ伐採	30名(環境科)	
72011.08.02	ネザサ伐採	5名(都市環境・緑化G)	
82011.10.20	ネザサ伐採	3名(都市環境・緑化G)	
92011.11.18	ネザサ伐採・調査エリア切り株処理	17名(環境科)	
102012.04.23	シニア里山サミットで活動報告	飯盛さん発表、4名(環境科)	サミット参加者60名

渦が森の  
バス停から  
徒歩3分の  
所から  
入ります





## 第2回シニア里山サミット

2012年4月23日 NPOプラザ3階会議室 出席者60人

### 議事

- 13時00分 主催者挨拶 シニア自然大学校 自然保護部 常勤理事 堤 正克
- 13時10分 講演 1. 環境政策とその先駆的事例  
東京農業大学農山村支援センター 竹田純一先生
2. 森林管理とその先駆的事例  
(独) 森林総合研究所 関西支所主任研究員 奥 敬一先生
- 14時30分 里山活動 事例報告
- ① 東別院ふれあい道場 下野 武志
- ② 調査研究部環境科 飯盛 秀穂
- ③ 奈良・人と 自然の会 古川 祐司
- ④ 里山の山野草を守る会 福岡 定晃
- 16時30分 全体協議 里山活動の連携と交流  
問題提起および提言 自然保護部 理事 福井 正樹

### 飯盛さん発表要旨②

#### 2) 現在の活動状況：

2009年10月から現地に入り活動開始。全面ネザサに覆われていたが最初に10m×10mの調査域を設定、このエリアでネザサの中に生えていた植物を抜き取り、記録に留める。同定は植物科の応援で草本12種、木本12種合計24種を確認。

当地での活動はネザサの伐採が全てのスタートで、2010年4月から開始。環境科として年2回の活動スケジュール(4月、11月)で、昨年の11月まで4回の伐採活動を行ったが、ネザサの再生能力は極めて強く、イタチごっこ状態。この春の様子から多少勢いは弱まったか・・・と思えるが、春から夏を経験しないと判定出来ない。

#### 3) 今後のあり方：

最初のネザサ伐採の1ヶ月後(2010.5月)に調査域を訪れたところ、コナラやアラカシの実生の芽が出ているのを発見。しかし半年後の11月にはネザサに負けたか全く発見出来なかった。ネザサが衰退した後の調査域で、どんな植物が生えてくるのか見届けたい。

今後は上部のネザサを伐採し、かつて植樹されたと思われるサクラ等が育つ環境にまで整備を続けたい。

### 飯盛さん発表要旨 ①

報告テーマ：「六甲グリーンベルト（GB）整備事業」への参画

報告要旨：環境科が取り組む事になった「六甲GB整備事業」＝里山管理のいきさつ、現在の活動状況、及び今後の方針を発表。

#### 1) 「六甲GB整備事業」参画に至ったいきさつ：

2009年6月、神戸市東灘区にある国交省・六甲砂防事務所を見学。午前中は砂防の重要さやデモ機を使つての土石流発生メカニズムを教わる。午後はバスで砂防の為の堰堤工事現場と市民参画型の「グリーンベルト整備事業」のモデル地区を見学。

当時の環境科には来年(2010年)に開催予定のCOP10の“生物多様性”に関する話題があり、また環境科としてもっと社会貢献すべし・・・といった雰囲気があった。

GB整備事業の現地を見て、我々でも出来そうであり、結果的に社会貢献活動であるとして環境科で取り組む事となった。都市環境・緑化Gが担当となり、「森の世話人」事務局と折衝、アクセスの良い渦が森地区の一角を担当することに決定。⇒「渦が森・環境の森」と称す。

## ◇◇◇活動記録(2)◇◇◇

年月日	活動内容	参加者	備考
112012.05.31	ネザサ伐採	6名(都市環境・緑化G+有志)	
122012.08.20	植生調査	4名(都市環境・緑化G3名+有志)	
132012.11.09	ネザサ伐採	28名(環境科)	
142013.04.12	ネザサ伐採及び植生調査	25名(環境科)	国交書HPで紹介
152014.02.21	ネザサ伐採及び植生調査	24名(環境科)	六甲セミナーポスタ
162014.03.22	植樹	4名(都市環境・緑化G3名+有志)	
172014.05.28	3月に植樹した近辺の整備	7名(都市環境・文化G4名+有志)	
182014.10.31	調査区域メインのネザサ伐採	7名(都市環境・文化G)	
192015.02.13	調査区域ネザサ伐採	25名(環境科)	
202015.06.10	調査区域の整備	10名(都市環境・文化G+有志)	

## 六甲砂防事務所ホームページ掲載

### 植物の生命力

作の監修人：山形大学大学院 環境学  
活動日：平成28年4月12日(金)

関西電力の工事で、昨年11月に活動地内が改変されてから、初めての活動になりました。必要な工事とはいえ、活動地内の変貌に驚きましたが、気を取り直して活動開始です。まず、ネザサを地際から刈り取り、ネザサが繁茂しづらい環境づくりを行いました。バッサリと伐採されたサクラに咲いたけげな花を見つけて、植物の逞しさを感じ嬉しく思いました。数種類の新しい芽吹きも見え、これらの成長を励みに活動を続けていきたいと思えます。



## My Tree

### 選定一覧

2019.11.8



## ◆◆◆活動記録(3)◆◆◆

年月日	活動内容	参加者	備考
212016.02.12	コナラ周辺のネザサ伐採	19名(環境科)	
222016.11.04	ネザサやススキなどの刈り取り	17名(環境科)	
232017.11.10	ネザサ伐採	16名(環境科)	
242018.10.05	ネザサ伐採	17名(環境科)	
252019.06.14	ネザサ伐採、打合せ及び動植物観察WS	15名(自然と環境科)+1名(事務局)	
262019.11.08	ネザサ伐採、MyTree計画推進	15名(自然と環境科)	
272020.11.13	コナラ周辺のネザサ伐採及びコナラ間伐	10名(自然と環境科)+1名(事務局)	
282021.11.05	ネザサ伐採及び植生調査	9名(自然と環境科)	
292022.03.26	市民との協働による森づくりフォーラム	2名(自然と環境科)	25周年記念報告活動
302022.06.10	ネザサ伐採(刈り払い機使用試行)	10名(自然と環境科)+1名(小山様、刈り払い機使用)	
312022.11.04	ネザサ伐採(刈り払い機使用試行)	10名(自然と環境科)+1名(小山様、刈り払い機使用)	

## 渦が森活動



